

東京電力／福島第一原子力発電所の緊急事態に伴う

静岡県内の環境放射線等測定結果(第50報) (平成23年4月9日9時現在)

文部科学省からの要請に基づき、静岡県の環境放射線の測定を実施しております。

また、3月18日からは水道水及び降下物の放射能測定も開始しました。さらに、3月23日から下田市、沼津市及び磐田市に可搬型モニタリングポストを設置し、環境放射線の測定を開始しました。

測定結果は次のとおりです。健康への影響を心配する必要がないレベルです。

1. 4月8日17時から4月9日9時までの環境放射線の測定結果

この時間帯、静岡市の測定結果は過去の変動幅を28.1～76.5 nGy/h (ナノグレイ毎時) を超過した値は観測されませんでした。

また、下田市、沼津市及び磐田市に設置したモニタリングポストの測定結果については、平成19年度から平成21年度までの文部科学省による全国の環境放射能水準調査の結果の範囲内の値であり、健康への影響を心配する必要がないレベルです。

時間	測定値(nGy/h)				備考
	静岡市	下田市	沼津市	磐田市	
17:00～18:00	43.4	48.0	41.3	48.8	
18:00～19:00	41.6	48.5	41.5	48.8	
19:00～20:00	41.4	48.7	41.7	49.3	
20:00～21:00	42.0	49.0	41.3	48.7	
21:00～22:00	41.7	48.3	41.3	48.2	
22:00～23:00	41.3	48.0	41.5	47.7	
23:00～24:00	41.1	49.0	41.2	48.0	
0:00～1:00	41.1	48.8	41.2	48.2	
1:00～2:00	42.8	50.2	41.5	49.7	
2:00～3:00	45.1	50.8	43.2	50.2	
3:00～4:00	46.1	52.2	44.0	49.8	
4:00～5:00	46.3	53.0	43.8	50.2	
5:00～6:00	46.9	51.3	43.5	51.5	
6:00～7:00	47.4	50.5	44.2	52.7	
7:00～8:00	47.7	52.7	44.0	52.8	
8:00～9:00	48.8	52.2	44.2	54.0	

- ・ 静岡市の過去の変動幅：28.1～76.5 nGy/h (ナノグレイ毎時)
- ・ 平成19年度～平成21年度の文部科学省による全国の環境放射能水準調査の測定結果の最小値：13.3 nGy/h (沖縄県)、最大値：153 nGy/h(新潟県)
- ・ 宇宙線 (宇宙からの放射線) の影響を除いた値です。
- ・ 1 nGy/h (ナノグレイ毎時) ≒ 1 nSv/h (ナノシーベルト毎時)
- ・ 1 nSv/h (ナノシーベルト毎時) = 0.001 μSv/h (マイクロシーベルト毎時)  
 = 0.000001 mSv/h (ミリシーベルト毎時)

## 2. 4月8日採取の水道水の放射能測定（核種分析）結果

【試料採取場所：静岡市葵区北安東】

ヨウ素131：検出されず

セシウム137：検出されず

昨日（4月8日）17時現在、3月22日の測定でのみ、福島第一原子力発電所の影響と思われる放射性のヨウ素131が極微量（0.14Bq/kg）検出されましたが、この影響による被ばく線量は約0.0000055mSv（ミリシーベルト）（約0.0055μSv（マイクロシーベルト））であり、1年間の被ばく線量限度1mSvと比較しても約18万分の1以下の値です。乳幼児も含め、健康には全く影響がない値です。

### （参考）3月22日の採取の測定結果

3月22日の測定では、福島第一原子力発電所の影響と思われる極微量（0.14Bq/kg）の放射性のヨウ素131が検出されましたが、この値は飲食物摂取制限に関する指標値（300Bq/kg）の約200分の1以下、乳幼児の指標値（100Bq/kg）の約600分の1以下であり、健康には全く影響がない値です。

【検出された放射能濃度】

ヨウ素131：0.14 Bq/kg（ベクレル毎キログラム）

セシウム137：検出されず

## 3. 4月8日の降下物の放射能測定（核種分析）結果

【試料採取場所：御前崎市池新田】

採取期間：4月7日9時～4月8日9時

【検出された放射能濃度】

ヨウ素131：検出されず

セシウム134：検出されず

セシウム137：検出されず

3月22日※の測定から福島第一原子力発電所の影響と思われる放射性物質が極微量検出されましたが、これらの放射性物質による線量率の増加は、解析の結果、これまでに降下したものを含め、約0.000004mSv/h（ミリシーベルト毎時）（約0.004μSv/h（マイクロシーベルト毎時））でした。この状況が1年間続くと仮定した場合、降下物の影響による1年間の被ばく線量は約0.035 mSv（ミリシーベルト）（約35μSv（マイクロシーベルト））であり、1年間の被ばく線量限度1 mSv（ミリシーベルト）と比較しても約25分の1以下の値で、健康には全く影響がない値です。

### （参考）平成23年3月22日から4月7日までの測定結果

【検出された放射能濃度】（単位：Bq/m<sup>2</sup>（ベクレル毎平方メートル））

放射性核種	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2
ヨウ素131	200※	150	5.8	4.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
セシウム134	72※	23	5.7	7.6	9.6	ND	8.3	ND	3.1	2.8	ND	ND
セシウム137	72※	25	5.9	8.0	ND	ND	ND	ND	3.1	4.6	3.4	ND

放射性核種	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7							
ヨウ素131	ND	ND	ND	ND	ND							
セシウム134	ND	ND	ND	ND	ND							
セシウム137	ND	ND	5.5	ND	ND							

・Bq（ベクレル）：放射能の量を表す単位・ND：検出されず（4月14日、誤表記修正）（次ページに続く）

**水道水の放射能測定結果について（平成23年4月8日17時現在）**

東京電力福島第一原子力発電所の緊急事態に伴い、3月24日より県東部、県中部及び県西部の水道水の放射能を測定しています。さらに、3月26日より伊東市、東伊豆町及び下田市の水道水についても、放射能を測定しています。

測定結果は次のとおりです。（8日採水分まで、検出されていません。）

**測定結果**

**放射性ヨウ素**

単位：Bq/kg

	県企業局 駿豆水道	静岡県大井川広 域水道企業団	県企業局 遠州広域水道	伊東市	東伊豆町	下田市
3月24日	検出されず	検出されず	検出されず	—	—	—
3月25日	検出されず	検出されず	検出されず	—	—	—
3月26日 ～ 4月7日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
4月8日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず

**放射性セシウム**

単位：Bq/kg

	県企業局 駿豆水道	静岡県大井川広 域水道企業団	県企業局 遠州広域水道	伊東市	東伊豆町	下田市
3月24日	検出されず	検出されず	検出されず	—	—	—
3月25日	検出されず	検出されず	検出されず	—	—	—
3月26日 ～ 4月7日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
4月8日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず

<参考>

水道名等	水源	採取地点	給水市町
県企業局 駿豆水道	柿田川	三島市中島	熱海市、三島市、函南町
静岡県大井川広域水道企業団	大井川	島田市相賀	島田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御前崎市、菊川市、牧之原市
県企業局 遠州広域水道	天竜川	磐田市寺谷	浜松市、磐田市、袋井市、湖西市、森町
伊東市上水道	伊東大川	伊東市宇佐美	伊東市
東伊豆町上水道	白田川	東伊豆町白田	東伊豆町
下田市上水道	稲生沢川	下田市河内	下田市

以上